

住み慣れた地域で、安心して元気に暮らしたい!!

多くの年配の方はこのように考えておられると思います。元気に過ごすためには定期的に健康診断を受け、生活習慣病を予防し、適度な運動を行うことが大切で、これにより健康長寿を目指します。しかし、いくら健康に気を付けても病気と無縁はなかなか難しく、病気と上手に付き合うことも重要です。そのための情報を「健康講座」や「深呼吸」、「病院だより」等でお伝えしていきます。

少子高齢化社会となり、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域のサポート体制の整備も必須です。当院では医療、介護、福祉、行政の関係者が集まり、地域のサポート体制について意見交換を行ってきました。7月31日開催した第13回合同情報交換会では、「身寄りのない独居を地域で支えるために～それぞれの役割・問題点を情報共有～」と題して7人のシンポジストからの報告を受け、「ひとり暮らしの高齢者に対してどのような配慮・サポートが必要か？」などの情報交換を行いました。今回は新たに民生委員、警察、弁護士の方からも情報提供があり、非常に有意義な会となりました。

この地域は温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、特に周防大島地区ではUターンが多く、社会増減はプラスとなっています。すばらしい自然環境のもと、安心して老後を過ごせるよう医療・介護・福祉の連携を密にし、サポート体制の整備を行っていきます。



2015.8.11